

地域の皆さんに、心(Heart)と技術(Hands)でヘルスケアサービスを提供するためのコミュニケーション誌



はあとふるグループ
代表 島田永和



はあとふるグループ
代表 島田永和

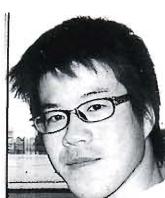


島田病院、八尾はあとふる病院は
『病院機能評価認定病院』です。

平成16年度基本方針のキー
ワードです。
「本物」のケアとは何でしょ
うか? ケアは提供者と受け手
の協働作業です。
「本物」のケアは、最高の技
術と「ご本人の納得や満足が重
なり合うサービスです。それには双方に条件が要
ります。

医療者は、心を込めて、誠実に、真剣に説明し、
ご理解いただいたうえで最高の技術を提供する「本
気」の姿勢が求められます。
私たちは医療者の独りよが
りのサービスを排除します。同
時に、受け手に対しても精神の自
立を求めます。
両者が力を合わせて「本物」
を育む土壤を耕し続けたいと思
っています。

「本物」「本気」で提供



第10回 スポーツ選手・指導者交流会 開催報告



井村雅代先生による基調講演

『人を育てる』

今回のメインテーマは「スポーツ傷害予防活動」で、参加者はスポーツ選手・愛好家、指導者や将来トレーナーや理学療法士を目指す学生など104名におよびました。

島田病院整形外科医師富原朋弘から「スポーツ現場に直接携わる皆様の率直なご意見ご教授をいただきたい」という挨拶で会は始まりました。まず、今年リニューアルオープンした「Eudynamicsはびきのヴィゴラス(疾病予防施設)」の取り組みを、実際に行っているスポーツ現場での予防活動の映像も交えて、トレーナーの大西敏之がご報告しました。

続いて、医療法人永広会理事長島田永和より「これからの島田病院」という題名で、現在の医療制度を考慮した上で今後の当院のあるべき姿の提示を中心に講演を行いました。



そして、基調講演として、2004年アテネオリンピック・シンクロナイズドスイミング・ナショナルチームヘッドコーチ(井村シンクロナイズドスイミングクラブ代表)の井村雅代先生をお迎え、「人を育てる」というテー

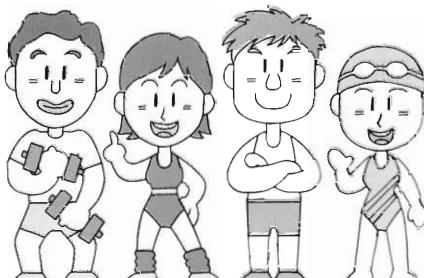
マでご講話いただきました。常に世界一を目指して真剣勝負をされている先生のお言葉は、一言、一言に重みがあり、「本気で世界をめざすという意志」を持つことは、スポーツだけでなく仕事をする姿勢や生き方を振り返らせる力強いものでした。

懇親会では、内科・整形外科疾患、スポーツ栄養、リハビリ、トレーニング、八尾はあとふる病院の各相談コーナーを設け、参加者と日頃のスポーツ現場での悩みなど積極的な意見交換を行いました。

会場では、井村先生の著書「愛があるなら叱りなさい」を特別販売しましたので、井村先生がサイン攻めにあう一幕もありました。

多数のご参加と貴重なご意見をいただき誠にありがとうございました。次回以降も「現場で活用できる」情報の提供ができればと考えております。

Eudynamicsはびきのヴィゴラス
トレーナー 大西 敏之





「急性期・回復期 リハビリテーション」



大阪府は平成12年度より地域リハビリテーション推進事業を通じ、リハビリテーションの充実に取り組んでいます。7つの地域に支援センターを設置し、保健所と一緒に、急性期・回復期・維持期のリハビリテーションサービスが切れ目なく提供できる体制を作ることを目的としています。

島田病院は、南河内の支援センターとして藤井寺・富田林保健所と共に、地域の方々が「ここで暮らしてよかった」と思えるように、この地域の各施設が連携して急性期・回復期・維持期と継続した質の高いリハビリテーションを提供することを目指しています。

地域	施設名
豊能	箕面市立病院
三島	愛仁会リハビリテーション病院
北河内	わかくさ竜間リハビリテーション病院
中河内	八尾リハビリテーション病院
南河内	島田病院
堺	大阪労災病院
泉州	府中病院

7つの支援センター

島田病院のリハビリテーション機能

- ・一般整形外科疾患のリハビリ
- ・脳卒中後の回復期リハビリ
- ・スポーツ外傷・障害のリハビリ
- ・維持期の方のリハビリ評価入院
- ・人工関節術後のリハビリ
- ・SCD教育入院

島田病院の機能としては、 主に急性期と回復期と考えています。

例えば、整形外科で膝の人工関節手術を行った場合、膝の曲げ伸ばし、筋力増強から始まり、しっかりと立てること、十分歩くことができるよう訓練が進められます。

これだけでは自宅へ帰った時に困ったことになります。それは人工関節の手術を行うと、構造的に膝が直角より少し曲がる程度にならざるを得ません。そのため、今まで通りには正座や和式トイレの使用ができません。退院までにご自宅の様子を十分お聞きし、また必要であれば訪問させていただき、退院しても日常生活がおくれることを確認しなければなりません。家屋改造が必要な場合はその方法についても提案をいたします。また、畳や床からの立ち上がり、お風呂への出入りの動作についても十分訓練して退院していただきます。

回復期からうまく維持期への移行を お手伝いすることも大きな役割です。

維持期は自立した日常生活が基本となります。回復期の段階で日常生活を送るための動作方法の指導を受け、また環境整備を行わないと自立できないことがあります。うまく維持期につなげることが回復期を担う施設の役割と考えます。

島田病院は、自分たちの得意分野のリハビリテーションサービスをより充実させると共に、地域内の連携をはかり、地域の方々の自立した生活を支援します。

あぶない! 睡眠時無呼吸症候群

「睡眠時無呼吸症候群」という名称は、昼間の強い眠気から起きた事故や高血圧等との関連からよく話題になります。多くは睡眠中に上気道が狭くなったり閉塞したりすることで起こり睡眠障害を伴います。

いびきが強い、昼間眠くて仕方ない等の人は、睡眠中の呼吸や脳波等の解析を含めた検査を行います。

治療が必要な場合には、合併症状の軽減や元の循環器疾患等の悪化を防ぐために、まず在宅での夜間の鼻

マスクによる陽圧呼吸を導入します。
八尾はあとふる病院・島田病院では
呼吸器疾患認定専門医の
高村医師が専門診療を
おこなっています。
症状が気になる方は、
診察にお越しください。



八尾はあとふる病院の得意技は その3



「通所リハビリテーション」

このようなお悩みのある方はいらっしゃいませんか？

- ・運動不足ぎみで身体の不自由な方
 - ・気持ちも身体も元気になりたい方
 - ・物忘れがひどく困っている方
 - ・友達を作りたい方
 - ・健康管理をしたい方
 - ・退院・退所したけど、家にばかりいるのは不安な方
 - ・張り合いが欲しい方
 - ・家のお風呂に入るのに不安がある方



▼当通所リハビリテーションでは以下のサービスがご提供できます。

■通所リハビリテーションでは

介護保険制度の、「要介護度認定」を受けられた方を対象として、心身の状態の維持・回復や悪化の防止を図り、適切な個々に応じたリハビリテーションを行い、またその活動を通じて他の利用者様や職員と楽しい時間を過ごすことで、活動の場が広がり、意義のある社会生活を過ごしていただけるよう支援しています。



■ご利用内容

- ご利用日 月曜日から土曜日、祝祭日
※日曜日、年末年始（12/30、1/1、1/2）は休みです。
 - ご利用時間
基本的には午前9時頃より午後16時30分頃までとなっています。
 - ご利用回数
要介護度に応じてご本人、ご家族、ケアマネジャーが相談し、
ケアプランを作成した上で決定します。



- 料金
1日あたりの自己負担額は、要介護度の違いや食事・入浴・送迎・個別リハビリ等の有無によって異なりますが、おおむね1,200円から1,700円程度です

- ### ●送迎範囲

八尾市及び東大阪市に入阪市平野区の一部
当院の専用車にて自宅まで送迎いたします。
※ご家族が送迎を出来る場合は、どの地域からでもご利用になれます。
※当院裏門周辺の方は、終タ点の通り(リバーライン)をご利用いただけます。

・通所リハビリテーションご利用の目的

- ① 日常の継続した健康管理(医学的管理)
日常的な健康管理(血圧や体温測定など)や、医師による定期的な診察による健康チェックを行います。
 - ② 心身機能の維持・改善(リハビリテーション)
それぞれに応じた日常生活訓練や機能回復訓練のプログラム(個別リハビリ実施計画書)を作成し、基本動作の自立を支援いたします。また、集団生活の一つとして、遊びと機能維持・回復を兼ねたレクリエーションを行い、変化のある楽しい生活を工夫しています。
 - ③ 閉じこもりの予防(ソーシャルケア)
孤独、寝たきりや痴呆へ移行するといわれる「閉じこもり症候群」の方は、“地域でる”こと、集団の中に入ることによる刺激で、リハビリの効果が一層高まります。
 - ④ 介護負担の軽減(レスパイトケア)
介護者の方も、介護から解放され、自由な時間を持つことにより、気分転換ができます。

● ご利用相談

通所リハビリテーションをご希望の方、または詳しいことをお知りになりたい方は、お気軽にお問い合わせください。

TEL 0729-99-0726(直通) FAX 0729-23-0186
担当:城戸(きど)、藤本(とうほん)

本人・ご家族と専門職のチームで
リハビリテーションプログラムを作成します。

当院では、患者様ご本人、ご家族と二人三脚でのリハビリテーションが重要と考え、患者様個々の状態を考慮し、医師、看護師、理学療法士、支援相談員などの専門職が個別のリハビリテーションプログラム（リハビリテーション実施計画書）を作成するとともにその内容についてご本人・ご家族と相談しながら訓練をすすめてまいります。

私たちもご本人・ご家族が、プログラムと一緒に考えてい
くことでリハビリテーションへの理解が深まるとともに、訓練
による良い効果を導き出すことも可能となります。

通所リハビリテーションアシスタントマネジャー 濱田 邦仁

Topics トピックス

講演会 開催報告

平成15年12月5日(金) LICはびきの

これからの高齢者医療・ケアのあり方 —カナダと日本の現状から—

はじめに島田理事長からカナダの医療情報などを提供しました。その後カナダの老人病学専門医であるマクマスター大学ウィリアム・モロイ教授と家庭医のアンスリー・モーリー医師から、すでに高齢化と財政難を経験した、カナダの終末期ケアへの取り組みを含めた高齢者医療・ケアの実状について講演していただきました。

家庭医が地域でチームを作り予防的医療活動を行う制度について知ることが出来ました。また、自分が意識不明になったとき、自分が望む医療・ケアを受けることができるよう、元気なときに書面に残しておく事前指定書の一つ「レット・ミー・ディサイド」についても紹介いただきました。

7年前の講演の時と比べると「どういう死に方を望むか」ということについて語ることがタブーではなくなった日本人の変化を感じました。



また、オーストラリアやドイツなど他の国の状況に詳しい府立看護大学の津村智恵子教授には、諸外国の方策を参考にこれからの日本の高齢者ケアについてまとめとなるご発言をいただきました。

新しい時代を迎えようとしている、高齢者医療、ヘルスケアを考える有用な機会となりました。

ご多忙の中、多数のご参加をいただきありがとうございました。

なお詳しい内容につきましてはホームページ
(<http://www.heartful-health.or.jp>) をご覧下さい。

南河内圏域地域リハビリテーション地域支援センター
島田病院 事務部部長代理 林 辰三

第12回 はあと&はんずアカデミー 開催報告

学会テーマ 「適者生存」～Survival of the fittest～
開催日時 平成15年11月16日(日)
会場 大阪府看護協会 レモンホール
発表演題数 口演25題 ポスター5題(合計30題)
参加職員数 216名

学ぶことを組織風土に
はあと&はんずアカデミー
—職員間の取組を発表する学会—



最後にコメントする坂本学会長

今年で開催第12回を数える「はあと&はんずアカデミー」を去る11月16日、大阪城公園に隣接する大阪府看護協会レモンホールにて開催いたしました。

今年はテーマを「適者生存」としました。環境に「適合」する能力と、自分の「実力」・「特性」を謙虚に把握し、又冷静に分析・判断しながら行動を起こすことで競争社会の中で勝ち残る術を学ぶことを目的とし選んだテーマです。アカデミーでは、この「適者生存」の視点に立って、日々のサービス内容の検証とサービス向上の為の業務改

善について発表がなされ、活発な意見交換が行われました。

今後、私たちのグループも、外部の環境変化や患者様・利用者様の高く多様化するニーズに、いち早く「適合」し、地域になくてはならない存在と認めていただけるよう、心(Heart)と技術(Hands)に磨きをかけて参りたいと思います。

第12回はあと&はんずアカデミー
学会長 坂本 博和

読んで学ぼう

整形外科のまめ知識 6

こつそそうじょう

骨粗鬆症のはなし

島田病院 整形外科 医師 佐竹 信爾

骨粗鬆症とは、骨が脆くなり骨折しやすくなる病気のことです。お年寄りの方、特に女性に多い病気です。骨が弱くなると、背骨が圧迫骨折により曲がったり、転んだ時に手や足の骨が折れたりします。しかし、こうなる前には自覚症状は余りありません。歳をとると徐々に骨は弱くなります。女性に多いのは女性ホルモンが骨を作る働きを持っており、閉経後ホルモン量が減ることによって骨が弱くなるためです。その他乳製品などをあまり食べない人、運動しない人、糖尿病やステロイドを飲んでいる人は骨が弱くなります。また痩せている人(特に「年齢—体重=20以上」の人)は骨粗鬆症の検査を受けられると良いでしょう。

骨粗鬆症の診断は、骨量を測定し、若年者と比較してどのくらい減少しているかによって判断します。

ところで、骨は常に壊してはまた新しく作りかえられることによって強さを保っています。最近、血液検査、尿検査によってこの骨の作る働きと壊す働きのバランスがわかるようになりました。この検査の値からカルシウム、ビタミンD、ビスホスホネートなどの治療薬を選択します。そして3~6ヶ月後にもう一度検査を行い、効果を確認し、場合によっては治療薬の変更となります。

圧迫骨折のある人が1年以内に再び骨折が発生する確率は約1割です。そして、転倒して手首の骨折をした人はその後、足の付け根の骨折をする危険度が普通の人の倍になります。もし足の付け根の骨折をすると約2ヶ月の入院が必要になります。骨が治っても以前は歩いていた人も、杖、手押し車が必要になったり、伝い歩き程度だったのが寝たきりになり介護度がアップします。骨粗鬆症の治療の目的はこの骨折の連鎖を食い止めることです。(ビスホスホネート治療薬では骨折の発生率が半分になります)

骨粗鬆の程度や治療はそれぞれによって異なってきますので、担当医に相談されると良いでしょう。



大腿骨頸部骨折



腰椎圧迫骨折

きくぞう君への投書から

ご意見(1)

リハビリトレーナーと先生のつながりがなさすぎる。
紙きれ一枚でおわる。できればトレーナーと一緒に診察でき
ればよりくわしく話ができると思う。

30歳 男性

回答

ご意見ありがとうございます。誠に、ご指摘通りで、診療には、医師とコメディカル（看護師、理学療法士、作業療法士、言語療法士、薬剤師、栄養士、放射線技師、検査技師など）との、コミュニケーションが、非常に大切です。

しかし、各職種とも、独自の仕事を抱えており、他の職種と時間調整をすることが、非常に難しいのが現状です。

現在、コミュニケーションの手段としては、ご指摘のあった「連絡票」や、院内メールなどがありますが、急を要するときは、電話でやりとりしています。

また、週1回合同カンファレンスを行い、お互いの診療方針の確認・調整を行っています。

ご指摘のあった「できればトレーナーと一緒に診察」は、すぐには、実現しにくいですが、「つながりがなさすぎる」ことは、今後も解消していくよう努力していきたいと思います。

整形外科 医長 金 国一

『きくぞう君』はご利用者の声を
業務の向上、施設改善に反映させる
ためのシステムです。
ご意見・ご質問など、お気軽にお寄せください。



ご意見(2)

コレセット入手の為本人の代理で初めて来院しました。こんな声を取り入れている病院いいなあと、嬉しくなりました。受付の設計がいいですよね。病院というとどうしても患者さんが遠慮しないといけないような圧迫感しかなくて敬遠しがちなのですが、雰囲気がそうではなくとても過ごしやすいのを感じました。それと整形の受付もじかに人が（窓越しとかではなく）、立っていてくださり温かさを感じました。先生もやさしく嬉しいことでした。こんな病院が増えてほしいです。患者はいつも心細いものです。患者の身を第一に考えて下さる姿勢を感じさせてもらい、よかったです。

50歳 女性

回答

お褒めの言葉をいただきありがとうございました。
まだまだ不十分な対応ではありますが、外来を担当している看護師・スタッフとしましては、患者様からのお褒めの言葉が一番の励みとなります。

今後も患者様がより満足できるように努力していく所存です。ありがとうございました。

外来 主任 真面 俊幸

島田病院の院内感染防止への取り組み⑪

リンクナースシステムの 具体的方法

感染管理担当 森下 幸子

今回は、インフルエンザとSARSの対策についてWHOの方針を一部ご紹介いたします。(右の枠内をご覧ください。)

症状が似ているためSARSをインフルエンザと誤って治療したり、診断すると適切な対策が遅れるために、院内感染がおこる事を危険としているわけです。そして予防策のひとつとして、インフルエンザワクチンを接種することを奨めているのです。

卒業は3月ですが、12月から島田病院へ戻りました。
感染に関連することやご意見ありましたら森下へ声をおかけください。

インフルエンザとSARSの対策についてWHOの方針

インフルエンザと重症急性呼吸器症候群(SARS)(2003/9/2WHO)

先般のSARSの世界的な集団発生により、類似の症状を引き起こす呼吸器疾患の発生に関する疑惑が高まった。インフルエンザは、発熱と呼吸器症状を生じSARSの疑いを引き起こす可能性がある幾つかの疾患のうちのひとつだが、施設内や地域社会における集団発生と地域的流行の可能性があることから特に懸念対象となっている。

インフルエンザを予防する最も有効な方法は、毎年インフルエンザ予防接種を受けることである。特に抵抗力のない高齢者や医療従事者へのインフルエンザワクチン接種は、SARSと間違えられる肺炎症例の数を減少させることができる。

はあとto ハート

インフォメーション

島田病院地域講習会

会場/島田病院1階図書室(売店前)
主催/島田病院 リハビリテーション科
TEL 0729-52-1590

ミニスポーツセミナー

会場/悠久亭地下 職員食堂
主催/島田病院
TEL 0729-53-1007

ヴィゴラス教室

会場/島田病院1階
主催/はびきのヴィゴラス
費用/1回1,000円(税別)
TEL 0729-53-1007

家族介護者教室

会場/介護老人保健施設
悠久亭6階 会議室
主催/在宅介護支援センター悠久亭
TEL 0729-53-1003

八尾はあとふる病院

会場/八尾はあとふる病院4階会議室
TEL 0729-99-0725

<使 命>
良質のヘルスケアサービスを
効率よく地域の方々に
提供し続けます

<職員憲章>
私たちは、その人が
その人らしく自分の人生を全うすることを
心(Heart)と技術(Hands)で支援します

はあとふるグループは、個人の価値観を尊重し、
その人の「自立」や「その人らしく生きること」を支援する
ヘルスケアサービスを提供します。

日 時	テ ー マ	講 師
2月14日(土) 15:00~16:00	「変形性股関節症の治療について」	整形外科医師 佐竹 信爾 リハビリテーション科 理学療法士 元石 光裕
2月21日(土) 16:00~18:00	「野球のスポーツ障害」	リハビリテーション科 理学療法士 溝口 大五
2月10日(火)・19日(木) 26日(木) 毎回15:00~16:30 (講義30分、実技1時間)	「生活習慣病の運動～より健康になるために～」 ・高血圧や糖尿病、高脂血症などの生活習慣病予防・改善に 重要な運動に対する理解を深めるため、より効果的な運動 を行うための教室です。より健康を目指す皆様のご参加を お待ちしております。※内容は毎回異なります。 ●トレーニングウェア、シューズ、飲料水をご持参ください。	はびきのヴィゴラス トレーナー 大西 敏之
1月22日(木) 14:00~15:00	「かかりつけ医推進事業について」 ・かかりつけ医を持つ大切さや、かかりつけ医との コミュニケーション等、羽曳野市医師会が取り組んで いるかかりつけ医推進事業について分かりやすく お話しいただきます。	加藤病院 医師 加藤 晴人氏
3月19日(金) 14:00~15:00	「住環境を整えていつまでも元気に～ 福祉用具の利用と住宅改修～」 ・介護負担の軽減、介護予防、自立支援のために 住環境を整えることは大事なポイントです。 福祉用具の紹介や福祉用具利用や住宅改修の 助成制度についてお話しします。	在宅介護支援センター 悠久亭 支援相談員 永井 希実
1月21日(水) 15:00~16:00	<健康増進・予防教室> 誰でも出来るカロリーコントロール	管理栄養士
2月18日(水) 15:00~16:00	<健康増進・予防教室> 今からでも間に合う花粉症対策薬の豆知識	薬剤師
3月17日(水) 15:00~16:00	<家族介護者教室> 私の在宅介護体験談	在宅介護経験者



はあとふるグループ

●医療法人(財団)永広会

島田病院 Tel.0729-53-1001
Eudynamics はびきのヴィゴラス Tel.0729-53-1007
介護老人保健施設 悠久亭 Tel.0729-53-1002
在宅介護支援センター 悠久亭 Tel.0729-53-1003
ヘルパーステーション 悠久亭 Tel.0729-53-1062
介護サービスセンター ゆうゆう亭 Tel.0729-53-5514
訪問看護ステーション ハートパークはびきの Tel.0729-53-1004
〒583-0875 大阪府羽曳野市櫻山100-1

八尾はあとふる病院 Tel.0729-99-0725
介護サービスセンター はあとふる Tel.0729-99-8126
〒581-0818 大阪府八尾市美園町2-18-1

●社会福祉法人 はあとふる

高齢者生活福祉センター ゆうゆうハウス Tel.0729-31-1616
〒583-0875 大阪府羽曳野市櫻山96-10